

第31回 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 次第

2026年7月14日

町田市立中央図書館ホール

1 開 会

図書館長 挨拶

2 委員紹介資料1

3 議 事

- (1) 第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度の取組結果及び
2026年度取組予定について 資料2

4 情報交換

5 その他

次回の会議予定について（1月～2月）

6 閉 会

配布資料一覧

資料1 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 委員名簿

資料2－1 第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度取組結果及び
2026年度取組予定報告書（案）

資料2－2 2025年度取組結果及び2026年度取組予定報告書（案）にかかる
委員からの意見、質問及び回答

町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員名簿（2026. 6. 1～）

選 出 区 分	氏 名	備考
町田市公立小学校長会の代表 (成瀬小学校)	吉成 美紀	指名
町田市公立中学校長会の代表 (鶴川中学校)	大石 眞二	指名
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 (小山小学校)	輪田 和子	委嘱
町田市立中学校の読書活動に携わる保護者 (町田市立中学校PTA連合会の代表／つくし野中学校)	三浦 克浩	委嘱
町田市私立幼稚園協会の代表 (町田市私立幼稚園協会役員／玉川中央幼稚園)	中川 暁子	委嘱
町田市法人立保育園協会の代表 (子どもの森保育園 園長)	武藤 裕美	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (おはなしポケット)	長尾 厚子	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (鶴川中央小学校図書指導員)	福田 比呂子	委嘱
町田市立図書館協議会の代表	福田 有美子	委嘱
子ども生活部児童青少年課長	島崎 翔	委嘱
子ども生活部子育て推進課長	田中 茂明	委嘱
学校教育部教育総務課長	伊藤 豪章	指名
学校教育部指導課長	杉浦 元一	指名
生涯学習部図書館長	本郷 剛	指名

第五次町田市子ども読書活動推進計画

2025年度取組結果及び2026年度取組予定報告書(案)

町田市教育委員会

2026年7月

目 次

基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 1-1 図書館のおはなし会
- 1-2 文学館のおはなし会
- 1-3 学童保育クラブのおはなし会
- 1-4 子どもセンターのおはなし会
- 1-5 「子育てひろば」のおはなし会
- 1-6 児童・生徒へのブックトーク
- 1-7 おすすめブックリスト
- 1-8 赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介
- 1-9 図書館のイベント・講座
- 1-10 若者の参画イベント
- 1-11 図書館見学の受け入れ（利用ガイダンス、施設見学）
- 1-12 移動図書館の出張運行
- 1-13 文学館のイベント・講座
- 1-14 絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会
- 1-15 マイ保育園登録時の絵本配布
- 1-16 各校特色のある読書活動

基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 2-1 町田第一中学校図書室ここまちベース
- 2-2 玉川学園駅前連絡所児童図書室
- 2-3 図書館
- 2-4 子どもセンター
- 2-5 公立保育園および地域子育て相談センター
- 2-6 学校図書館支援貸出
- 2-7 学校図書館の蔵書整備
- 2-8 「学校図書館活用の手引き」の活用
- 2-9 学校図書館の運営人材の確保
- 2-10 電子書籍サービスの活用
- 2-11 図書館ホームページ等での情報発信
- 2-12 「みんなが読める本」の周知活動
- 2-13 「家庭学習推進の手引き」の提供
- 2-14 「子育てひろばカレンダー」の発行

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の育成と支援

- 3-1 学校図書館担当者研修
- 3-2 新任教諭への図書館研修
- 3-3 市民向け絵本の読み聞かせ講座
- 3-4 おはなし会ボランティアの養成講座
- 3-5 児童文学講座

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本 目標	通し 番号	取組 グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
1	1	おはなし会の実施	図書館のおはなし会	図書館	乳幼児小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢にあったおはなし会を行い、子どもや保護者におはなしの楽しさを味わってもらいます。子どもが本に親しみ、本に興味を持ってもらえるように読書の機会を提供します。	・「おはなし会」を全館で定期的に開催する。 ・おはなし会ボランティアの活躍の場を拡充する。	・2024年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。	各館で定例また出張のおはなし会を開催した。 【館内おはなし会】216回開催、2,568名参加 【館内乳幼児向けおはなし会】101回開催、1,471名参加 このうち「こわいおはなし会」「クリスマスおはなし会」などの不定期イベントを全館で合計10回開催し、205名の参加があった。 【出張おはなし会】26回開催、1,102名参加	B	・「おはなし会」を全館で定期的に開催する。 ・おはなし会ボランティアの活躍の場を拡充し、ボランティア主体で進められるよう検討する。	・2025年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。 ・乳幼児向けおはなし会のニーズに応じて、おはなし会の増設を検討する。
	2	おはなし会の実施	文学館のおはなし会	図書館（文学館）	乳幼児保	絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべうたやことば遊びを通じた親子のコミュニケーションを促し、「ことばの扉」となるような事業を行います。	・子どもの発育に応じた定例のおはなし会を実施する。 ・おはなし会のボランティア募集を行う。	・子どもの発育に応じた定例のおはなし会を定期的に実施し、親子のコミュニケーションを通じて「ことば」への関心を育てる機会を提供する。 「ちちんぷいぷい」J0～1歳児対象：23回実施 「ことばであそぼう！みんなあつまれ！」2歳～未就学児対象：4回実施 ・「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する俳句教室を年2回（春・秋）実施する。	・「ちちんぷいぷい」を23回開催。参加者数は581名。 ・「ことばであそぼう！みんなあつまれ！」を5回開催。参加者数は111名。 ・「ちちんぷいぷい」をサポートしてくれるボランティアを新たに募集し、12名が加入。	B	・上半期は2025年度同様に、子どもの発育に応じた定例のおはなし会を実施する。 ・下半期は大規模修繕により休館となるため、他の施設を借りて事業を継続する。	・0～1歳児対象事業の実施 ・未就学児対象事業の実施
	3	おはなし会の実施	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	学童保育クラブに入会する子どもたちが、本に親しんでもらえるようにおはなし会を行います。	・おはなし会を学童保育クラブ支援員、およびボランティア団体等と連携しながら実施する。	・各学童保育クラブで、地域のボランティア団体等と連携し、おはなし会を、月に1回以上実施する予定である。 ・また、学童保育クラブの支援員に向けて、図書館の読み聞かせ講座の開催についても周知を行う。	・29のクラブで、地域ボランティアや職員によって、おはなし会が実施されており、そのうち半数以上のクラブでは週に1回以上の頻度で開催された。 ・また、図書館との共催イベントを行うクラブもあり、子どもたちが本に親しむ機会を積極的に設けていた。	B	・おはなし会を学童保育クラブ支援員、およびボランティア団体等と連携しながら実施する。	・各学童保育クラブで、学童保育クラブ支援員、および地域のボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。 ・また、学童保育クラブの支援員に向けて、図書館の読み聞かせ講座の開催についても周知を行う。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本 目標	通し 番号	取組 グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
1	4	おはなし会の実施	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小中保	子どもセンターに来館する子どもたちが、本に親しめるように、地域のボランティア団体と連携しながら、おはなし会を行います。	【ばあん】 おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、各子どもセンターで地域ボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。	【ばあん】 ・ばあんからの依頼を受けたボランティア団体によるおはなし会を年16回実施した。また、夏休みも対象を拡大して(0歳～未就園児、3歳から小学校低学年まで)、各1回行った。 ・絵本だけでなく、紙芝居・パネルシアター・大型シアター等を織り交ぜ、季節に合わせたものや当日の利用年齢を考えたおはなしを実施した。 またおはなしの合間には、手遊び等も行った。 ・常連の親子だけではなく、新規の参加者も多かった。保護者が「いつも楽しみにしている」と感想を述べていた。	B	・地域ボランティア団体と連携しながら、子どもたちに興味を持ってもらえる本を紹介するほか、親子で本に触れあう機会を提供する。	・引き続き、各子どもセンターで地域ボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。
									【つるっこ】 ・つるっこからの依頼を受けたボランティア団体によるおはなし会を年8回実施した。また、夏休み・冬休みに対象年齢を小学校低学年まで拡大して各1回行った。 ・絵本だけでなく、パネルシアターや紙芝居など演目に変化を持たせた内容になるようにし、おはなしの合間には手遊びやスキニッップ遊びも取り入れ飽きさせない工夫をした。 ・今年度手遊びやスキニッップ遊びを増やしたところ、大変喜ばれた。	B		
									【ばお】 ・ばおからの依頼を受けたボランティア団体によるおはなし会(乳幼児向け)を毎月1回(計12回)実施した。8月は対象年齢を小学生まで拡大し2部制で行った。 ・絵本だけでなく、紙芝居等を織り交ぜ、季節に合わせたものや、当日の利用年齢を考えたおはなし会を実施した。 ・バベット人形を効果的に使用し、おはなしの合間には手遊びやスキニッップ遊びも取り入れるなど飽きさせない工夫をした。また、幼児が簡単に遊べる折り紙のお土産が大変喜ばれた。 ・新規の参加者も多く、演者の問いかけに答えたり、まねをして踊ったり、それぞれに楽しんでいる様子が見られた。	B		
									【ばお分館 WAAAO】 ・毎月1回、地域ボランティアによる乳幼児向けの絵本の紹介・読み聞かせを実施した。夏休みには、小学生向けに昔と絵本の読み聞かせを実施した。 ・乳幼児向け1回、小学生向け1回の計年2回、堺図書館によるおはなし会を実施した。	B		
									【ただON】 ・毎月1回、お話しボランティア団体「ひろば文庫」による、手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせなどのおはなし会(乳幼児向け)を実施した。また、夏休み期間にはこわいおはなし会を小学生向けに実施した。 ・夏休み期間に1回、忠生図書館との共催による小学生向けの図書イベントを実施した。	B		
									【まあち】 ・毎月1回、お話しボランティア団体「にこぼ」による、手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせなどのおはなし会(乳幼児向け)を実施した。 ・4、6、10、2月に各1回ずつ、中央図書館・さるびあ図書館との共催による乳幼児向けおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、中央図書館との共催による小学生向けのこわいおはなし会を実施した。	B		

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本 目標	通し 番号	取組 グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
	1	5	おはなし会の実施	「子育てひろば」のおはなし会	子育て推進課	乳幼児	乳幼児を対象とした「子育てひろば」で、絵本の読み聞かせを行います。 また、その年齢にあった絵本や、季節の絵本などの紹介を利用者に行います。	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・季節に合わせた絵本の紹介を行う。 ・ボランティアによる読み聞かせを取り入れる。	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行う。 ・地域ボランティアに絵本の読み聞かせを行ってもらう機会を設け、5地域で計16回実施した。	B	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・季節に合わせた絵本の紹介を行う。 ・ボランティアによる読み聞かせを取り入れる。	・引き続き、あそびの会での読み聞かせや、室内開放等でのスポットタイム(不定期のお話会)、図書館との連携事業の実施を行う。 ・季節の絵本の紹介や読み聞かせを行う。 ・ボランティアによる読み聞かせの機会を作る。
	1	6	ブックトークの実施	児童・生徒へのブックトーク	図書館	幼小中	図書館職員が学校へ出向き、学校の読書活動の一環として、テーマに沿って本を組み合わせて紹介するブックトークを行い、読書の楽しさを伝えます。 また、図書館の紹介や利用案内も行います。	・普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。 ・より効果的なPRIに努める。	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っていく。	B	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っていく。 ・より効果的なPRIに努める。	・普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。
	1	7	ブックリストの作成・配布	おすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保他	図書館で購入した児童図書の中から、図書館職員が選んだおすすめの本を集めて、年代別のリーフレットを作成・配布します。 それぞれに、おすすめ本の簡単な解説を掲載します。	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめの「みんなでもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでもう子どもの本」については、作成方法の見直しを検討し、あわせて利用者に効果的に届くように検討を行う。 ・2025年度も継続して、「YA通信」等を発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。	B	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめの「みんなでもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「本のたからじま(3・4年生)」の改定を行う。 ・「みんなでもう子どもの本」を年2回発行する。 ・効果的な配布方法について検討する。
	1	8	ブックリストの作成・配布	赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介	保健予防課	乳保	出産後の保護者と接する健診等の機会に、赤ちゃんにおすすめの絵本について情報提供します。	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・毎月行われる3～4か月健診において、赤ちゃんにおすすめの絵本のリーフレットを配布予定である。	B	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・毎月行われる3～4か月健診において配布している健診パンフレット内に、絵本の紹介記事(中央図書館HPこどもページの紹介)を掲載予定である。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本 目標	通し 番号	取組 グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
1	9	子ども 読書の 周知活動	図書館のイベント・講座	図書館	小中	子ども・若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるような、イベント・講座を行います。	・各館でイベントを実施する。	・子ども・若者に参加してもらえよう、イベントを行っていく。	【中央図書館】 ・児童向けイベントとして「にんきものはだれだ！？」、「まちクエキッズ」を実施した。 ・中学生から大学生までを対象とした図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施し、10名の参加があった。 ・中央図書館内を巡って謎を解くイベント「まちクエ2025」を7月19日から8月31日まで実施し、187名の参加（内イベント対象（中学生・高校生世代）は27名）があった。アンケート回答者121名だった。 ・若者自身で図書館でのイベントの企画・運営を行ってもらう、「図書館プランナー（図書館イベントボランティア）」のイベントを8件実施した。＜実施企画＞「ありのままアニメ化漫画を5分で話すゼッ！！～アニメ化漫画推し語り会～」「おいでよ！クトゥルフの沼」「お楽しみBook」「わたしの一冊」・読書の輪を広げるビブリオバトル～」「文庫本のカバーでオリジナルのノートをつくろう！」「僕は集英社漫画語りの神となる」「おいでよ！クトゥルフの沼2」「エコたわしをつくろう！」 【さるびあ図書館】 ・夏休みイベント「さるびあ図書館できょうりゅうをさがせ！」、「きょうりゅうのたまごめぐりにチャレンジ！」を実施した。 【金森図書館】 ・夏休みイベント「きょうりゅうクイズにちょうせん！キミもきょうりゅうはかせになろう」を実施した。 【木曾山崎図書館】 ・夏休みイベント「おえかきマグネットをつくろう」、「おすすめ本の自動販売機！」を実施した。 【堺図書館】 ・夏休みイベント「うみのいきものをさがせ！」を実施した。 【鶴川駅前図書館】 ・夏休みイベント「つまっちー＆こつまっちーめり絵大会！」、「かりて！まわして！シールラリー！」を実施した。 【忠生図書館】 ・夏休みイベント「ひつじちゃんをさがせ！」、「としよかんまじよからのちょうせんじょう！」を実施した。 ・POPコンテストは370名からの応募があり、第1次審査は図書館職員、第2次審査は図書館各館来館者・書店の来店者・地域文庫運営者の投票により、最優秀賞1名、優秀賞2名が決定。また、図書館協議会委員による投票で図書館協議会員1名、応募作品全体から図書館長特別賞1名が選ばれた。入賞作品はしおりにして、市内各所に配布（2026.4.15）した。	A	・各館でイベントを実施する。	・子ども・若者に参加してもらえよう、引き続きイベントを行っていく。
1	10	子ども 読書の 周知活動	若者の参画イベント	図書館	中	若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるように、同世代の若者自身が、自分たちが楽しいと思うイベントの企画・運営を行います。	・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。	・毎月行う図書館プランナーミーティングで企画したイベントを実施する予定。 ※図書館プランナーとは、15歳から25歳までの方が集まり、図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアをいう。	イベントの企画・運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー」による企画を8件実施した。 ・新しい本と出会えるきっかけを作るため、6月に、好きな漫画を読むイベント、12月にビブリオバトルを実施した。そのほか、ノートを文庫本風にするイベントやアクリル毛糸でたわしを作るイベントなど、計8件のイベントを実施した。 ・3月に、児童青少年課主催の若者イベント「まちだ若者大大作戦～WAKU WAKU～」の第2弾、第3弾に図書館プランナーとしてブースを出店した。 ・その他、図書館で行った各種イベント（点字・マルチメディアデジジー）に運営の手伝いとして参加をしたり、生涯学習センター主催講座に参加した。	A	・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。	・図書館プランナーミーティングで企画したイベントを実施する。 ※図書館プランナーとは、15歳から25歳までの方が集まり、図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアをいう。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
	1	11	子ども読書の周知活動 図書館見学の受け入れ（利用ガイドランス、施設見学）	図書館	幼小中	学校からの見学依頼を受け、図書館案内や書庫のバックヤード見学などを行い、図書館や本に興味関心を持ってもらいます。	・学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている業務内容等を広める。	・近隣の小学校からの見学依頼を受け、図書館や移動図書館を紹介し、図書館や本に興味関心を持ってもらえるようにする。	・地域からの依頼に基づき、図書館見学を全館で合計25回実施し、参加者数は1,141人だった。	B	・学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている業務内容等を広める。	・近隣の小学校からの見学依頼を受け、図書館や移動図書館を紹介し、図書館や本に興味関心を持ってもらえるようにする。
	1	12	子ども読書の周知活動 移動図書館の出張運行	図書館	乳幼小保他	保育園、幼稚園、イベント会場など、子どもが集まる場所に移動図書館の出張運行を行います。 本の貸出のほか、紙芝居やミニおはなし会などを行いながら、本に触れる機会を作ります。	・保育園、幼稚園、イベント会場などに移動図書館の出張運行を行い、子どもが本と触れあう機会を提供する。	・保育園、幼稚園、イベント会場など12か所に移動図書館の出張運行を行う予定である。	・保育園、幼稚園、イベント会場など13か所に移動図書館の出張運行を行った。	A	・保育園、幼稚園、イベント会場などに移動図書館の出張運行を行い、子どもが本と触れあう機会を提供する。	・保育園、幼稚園、イベント会場など14か所に移動図書館の出張運行を行う予定である。
	1	13	子ども読書の周知活動 文学館のイベント・講座	図書館（文学館）	小中	町田市内の小学校・中学校・高等学校に在学する生徒を対象に「ショートショートコンクール」を開催します。コンテストを通じて自由に「書くこと」の楽しさを伝えます。	・第5回ことばらんどショートショートコンクールの実施	・ショートショートコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座（出張事業）を実施する。 ・中央図書館、市庁舎イベントスタジオ等で受賞作の展示を実施し、コンクールのPR活動に努める。	・小学校7校、中学校2校で全16件の出張授業を開催。応募作品数は847作品。 ・文学館1階サロンで1回、中央図書館で2回、市庁舎イベントスタジオで1回の全4回の受賞作品展を開催。	B	・第6回ことばらんどショートショートコンクールの実施	・2025年度と同様に、ショートショートコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座（出張事業）を実施する。
	1	14	子ども読書の周知活動 絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会	図書館（文学館）	乳幼小中保他	夏季には絵本作家や子ども向け（主として乳幼児から小学校低学年とその保護者）のテーマを扱った企画展を開催します。 漫画など文学に隣接するジャンルの展覧会の開催に積極的に取り組みます。	・絵本・児童文学・漫画を題材にした展覧会の実施	・春季展覧会では、おーなり由子氏の絵本『ことばのかたち』と鯨庭氏の漫画『言葉の獣』を展示する。 ・夏季展覧会では、くだものをテーマにした絵本原画展「絵本の森でフルーツ狩り」を開催。『くだもの』（平山和子）をはじめ、9作品の絵本原画を展示。観覧者は9,895名。	・春季展覧会では『ことばのかたち』（おーなり由子）、『言葉の獣』（鯨庭）を展示。観覧者は6,232名。 ・夏季展覧会では、くだものをテーマにした絵本原画展「絵本の森でフルーツ狩り」を開催。『くだもの』（平山和子）をはじめ、9作品の絵本原画を展示。観覧者は9,895名。	B	・絵本・児童文学・漫画を題材にした展覧会の実施	・春季展覧会では、「NEO古典主義」と題し、古典作品を絵本や漫画にした作品を展示予定 ・夏季展覧会では、絵本作家・いしかわこうじの絵本展を開催予定
	1	15	子ども読書の周知活動 マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	マイ保育園に初めて登録する0歳児のご家庭に、図書館のブックリストを参考に選んだ絵本のプレゼントを行います。	・マイ保育園登録につながるよう、勤奨訪問等で登録を助めていく。	・0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布する。	・1,130冊の絵本を0歳のマイ保育園新規登録者に配布した。 ※マイ保育園とは、地域の家庭が近隣の保育園を「かかりつけ保育園」として登録し、気軽に相談できるような子育て支援のこと。	B	・0歳でのマイ保育園登録につながるよう、子育てひろばや勤奨訪問等で登録を助める。	・0歳のマイ保育園新規登録者には、絵本を配布する。
	1	16	学校での読書活動 各校特色のある読書活動	指導課	小中	学校の教育計画の「指導の重点」に明記して、市立小学校・中学校で、それぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組みます。	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行った。	B	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例の共有を中心に各校の特色ある学校図書館活用を推進していく。

総括	A評価	B評価	C評価	16
	3	13	0	

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
2	1	本と出会える場所	町田第一中学校図書室ここまちベース	生涯学習センター	乳幼児小中保他	町田第一中学校の図書室「ここまちベース」を、図書室にある本を読む場所というだけではなく、学習支援や各種イベントを行うことで、学びの場、憩いの場、多世代交流の場とします。	・ひと月に一つの割合でイベントを実施する。	・好評の「ここまちの塾」の継続や多世代交流につながる各種イベントを実施する予定である。また、絵本コーナーに設置している「ここまちの芝生」を活用して、未就学児とその保護者を対象としたイベントを試みる予定である。	・町田第一中学校の図書室を使用し、「ここまちの塾」を41回行ったところ、196名の利用があった。また、しおりづくりや水彩絵はがきづくりなどの多世代交流イベントを計12回実施したところ、56名の参加があった。	B	・ひと月に一つの割合でイベントを実施する。	・「ここまちの塾」を「ここまちの自習室」として運用を変更し、定員を増やす予定である。
2	2	本と出会える場所	玉川学園駅前連絡所児童図書室	市民課（玉川学園駅前連絡所）	乳幼児小保	児童図書室には、乳幼児向けの絵本から、児童書、紙芝居など約7,000冊の本があります。1人4冊、2週間借りることができます。対象は、町田市在住・在学・在勤の方です。	・魅力ある図書室の環境を整える。	・子どもたちに興味をもってもらい取り組みとして、季節の絵本や個別の作家の特集コーナーを設置する。 ・利用者が地域の方から提供される再利用本を活用する。	・四季折々の行事やハロウィン、クリスマスなどのイベントに合わせた選書に加え、絵本関連の受賞作コーナーを設けるなど、子どもから大人まで幅広い層が楽しめる展示を行った。 ・寄贈本38冊を受け、再利用本として活用した。	A	・魅力ある図書室の環境を整える。	・子どもたちに興味をもってもらい取り組みとして、季節の絵本や個別の作家の特集コーナーを設置する。 ・利用者が地域の方から提供される再利用本を活用する。
2	3	本の充実	図書館	図書館	乳幼児小中保他	子どもたちに読書を楽しんでもらえるように、蔵書の構成を踏まえて、実際に現物を確認し、内容を精査してから購入します。子どもたちの興味を引くような本や、調べ学習に対応できるような本など、さまざまなニーズに対応できるようにします。	・図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・カウンター業務における読書相談の内容を、全館の担当者の打ち合わせで共有し、選書に活用する。 ・ロングセラー本の買い替え、小学生に人気がある本の新規購入を行う。	・選定会議で現物を見たうえで、新刊の内容を確認して収集を行った。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズ把握に努めた。 ・利用頻度の高い乳幼児向け絵本・基本書は買換え・所蔵換え等を行って、状態の良い資料の提供を心がけた。 ・小学校の教科書改訂に伴い、ニーズのありそうな知識の本を複数購入した。 ・館内閲覧専用棚の設置のため子どもに人気のシリーズ本を複数購入した。 ・おはなし会等で利用頻度が増えた紙芝居・大型絵本の購入をした。	B	・図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・カウンター業務における読書相談の内容を、全館の担当者の打ち合わせで共有し、選書に活用する。 ・ロングセラー本の買い替え、小学生に人気がある本の新規購入を行う。 ・調べ学習に対応できるような資料の選定・購入を心がける。
2	4	本の充実	子どもセンター	児童青少年課	乳幼児小中保	子どもセンターばお分館WAAAOは、「絵本の世界へようこそ」がコンセプトです。子どもたちに本に親しんでもらえるよう「ドキドキ図書コーナー」のスペースを設置しています。	・配架の工夫を行う。 ・利用者のニーズに合う書籍を新規に購入する。	・引き続き、多くの子どもたちが本を手にとり、本に興味を持ってもらえるように、低い書棚に配架するなどの工夫を行う。 ・小学生の利用者が増えているので、小学生にアンケートを取り、本を揃えていきたい。	・引き続き、子どもたちが本を手にとりやすいように低い書棚に配架している。また、「おすすめ本」のコーナーを設け、定期的に配架する本を変えている。 ・幼児に人気のシリーズの本を購入し、目立つ場所に配架した。 ・小学生の利用者に「WAAAOにあってほしいと思う本」についてアンケートを取り、意見を反映させた本を購入した。	B	・子どもたちが本に興味を持ちやすくなるよう、配架の工夫を続ける。 ・必要に応じて、書籍の見直しや入れ替えをする。	・小さな子どもでも本を手にとりやすいように低い書棚に配架する。 ・同じシリーズ、同じ分野の本をなるべくまとめて配架し、興味がある分野から本を手にとる習慣がつかないようにする。 ・適宜、書籍のラインナップを見直し、必要に応じて書籍を新規購入したり入れ替えたりする。
2	5	本の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼児保	身近で絵本が借りられるよう、絵本の貸し出しを行います。図書館からのリサイクル図書を利用し、本の入れ替えを定期的に行っています。貸し出しの際には、季節の本や子どもに人気の本を紹介し、興味関心を持ってもらえるように行います。	・子ども達や親子が絵本に触れる機会を多く作っていく。	・絵本の貸し出しを行い、併せて絵本の紹介も行っていく。 ・地域子育て相談センターでは年齢に応じた絵本の紹介を行う。	・公立保育園では図書館を定期的に訪れ、子どもたちの興味に合わせた絵本を借りて活用している。各園で図書館からのリサイクル絵本も活用しながら、季節や興味に合わせて定期的に絵本の入れ替えを行った。山崎保育園では在園児向けに、町田保育園では地域の親子向けに貸し出し絵本コーナーを設置し、気軽に家庭での読書時間を楽しんでもらえるようにしている。 ・地域子育て相談センターでは、開放の部屋にて絵本コーナーを設置し、手に取りやすい環境を整備した。鶴川地域では貸し出しも行い、延べ91名が利用した。	B	・子ども達や親子が絵本に触れる機会を多く作る。	・公立保育園や地域子育て相談センターで、引き続き絵本の貸し出しや絵本の紹介を行う。 ・子どもが絵本に興味を持ち、気軽に手に取って読むことが出来るよう環境を整え、絵本コーナーを充実させる。 ・地域子育て相談センターでは、子育てひろばやあそびの会にて、年齢に応じた絵本の紹介を行う。

基本 目標	通し 番号	取組 グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
	2	6	学校図書館の充実 学校図書館支援貸出	図書館	小中他	さるびあ図書館を拠点に、学校図書館への支援貸出を行います。学校での調べ学習をサポートするため、図書館で必要に合わせた本を選び、配本しています。	・学校図書館支援貸出について各学校へ周知及びスムーズで簡単に支援貸出ができるように進めていく。	・学校図書館支援貸出について各学校へ周知することで、学校図書館支援貸出の活用を進めていく。	・学校図書館支援貸出についての周知文を各小中学校に配布し、新任教員向けの研修データを作成したことにより、小中併せて81件の依頼があり、2,785冊の貸出をした。	A	・スムーズで簡単に支援貸出ができるように進めていく。	・スムーズで簡単に支援貸出ができるように、学校からの依頼回数の多いテーマの本の追加購入を進める。
	2	7	学校図書館の充実 学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	児童生徒が本に触れあう機会を増やし、豊かな知識や心を持つことができるよう、学校図書館図書標準の達成と廃棄規程に基づき、計画的に蔵書の更新を進めます。	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校38校。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、学校図書館図書標準の全校達成および学校図書更新比率全国平均以上38校達成に向けて支援する。	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校39校。	B	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校45校。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、学校図書館図書標準の全校達成および学校図書更新比率全国平均以上45校達成に向けて支援する。
	2	8	学校図書館の充実 「学校図書館活用の手引き」の活用	指導課	他	児童・生徒の読書活動の充実のため、「学校図書館活用の手引き」の活用状況を把握し、学校図書館担当者研修会の研修等の内容に反映させます。	・「学校図書館活用の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活用の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。	・第1回目の研修で、「学校図書館活用の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行った。	B	・「学校図書館活用の手引き」を改訂し、学校図書館の効果的な活用を推進する。	・学校図書館活用推進委員会で「学校図書館活用の手引き」の改訂を行う。また、各学校の取組について情報交換を行う。
	2	9	学校図書館の充実 学校図書館の運営人材の確保	指導課	他	学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討するとともに、「小・中学校モデル事業」を行います。	・学校図書館の専門的人材を安定的に確保し、巡回型学校図書指導員の活用を通して、すべての学校で計画的かつ継続的な学校図書館運営を実現する。	・巡回型学校図書指導員を運用し、人材確保と、円滑な運営を進める。	・巡回型学校図書指導員の人材を確保できなかったが、2025年9月に学校を対象に、学校図書館の活用、運営状況に関する調査を実施した。	C	・学校図書館担当者が、学校図書館の運営を担う役割を果たすことができるよう、「学校図書館活用の手引き」を改訂する。	・学校図書館活用推進委員会等で、図書館の機能強化について検討し、学校図書館担当者の継続的な図書館運営を可能とする「学校図書館活用の手引き」を改訂する。
	2	10	学校図書館の充実 電子書籍サービスの活用	指導課	小中	学校図書館の機能充実を行うため、学校では市立図書館の電子書籍サービスを活用します。	・学校図書館における電子書籍サービスの活用を推進し、教職員の理解と活用力を高めることで、学校図書館の機能充実と児童生徒の学びを支える環境を整備する。	・学校図書館担当者研修会等で電子書籍サービスを活用できるよう研修を行い、校内に広めていく。	・学校図書館担当者研修会で電子書籍サービスについて、全小・中学校で使用できることを周知し、各校で積極的な活用を促した。	B	・学校図書館における電子書籍サービスの活用を推進し、教職員の理解と活用力を高めることで、学校図書館の機能充実と児童生徒の学びを支える環境を整備する。	・学校図書館担当者研修会等で電子書籍サービスを活用できるよう研修を行い、校内に広めていく。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

通し 目標	取組 番号	取組 グループ	取組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
	2	11	情報の 発信	図書館ホームページ等での情報発信	図書館	小中保他	子どもたちの読書のきっかけや、本との出会いとなるように、イベント（おはなし会など）の情報や、おすすめ本リスト等を、図書館ホームページ、まちだ子育てサイト、X（旧Twitter）でお知らせします。 また、図書館ホームページでは、本と出会う場所や団体の情報をまとめた「町田市読書MAP」や、学校の先生に向けた「市内小・中学校の先生方へ」など、幅広い情報を掲載します。	・子ども読書に関する情報（イベント）をわかりやすく、早く発信していく。	・図書館ホームページが2025年3月に更改したため、運用方法を検討していく。	A	・子ども読書に関する情報（イベント）をわかりやすく、早く発信していく。	・情報が探しやすいページ作りを行う。
	2	12	情報の 発信	「みんなが読める本」の周知活動	図書館	幼小中保他	みんなが読むことができるさまざまな「本」があります。「本」を必要としている子どもだけではなく、周りの人たちにも知ってもらえるように、周知活動を行います。	・図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・さまざまな資料を紹介する展示を実施する。 ・子ども向けイベントを実施する。	さまざまな読書方法について、イベントや展示により広報予定である。 ・館内展示等で図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・点字絵本の特集コーナーを、毎月内容を変更して継続的に実施する。 ・夏休み期間にの子ども向けイベント（マルチメディアデイズ上映会、点字打ち体験会等）を実施する。	B	・図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・さまざまな資料を紹介する展示を実施する。 ・子ども向けイベントを実施する。	さまざまな読書方法について、イベントや展示により広報予定である。 ・館内展示等で図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・点字絵本の特集コーナーを、毎月内容を変更して継続的に実施する。 ・夏休み期間にの子ども向けイベント（マルチメディアデイズ上映会、点字打ち体験会等）を実施する。
	2	13	情報の 発信	「家庭学習推進の手引き」の提供	指導課	保	「家庭学習推進の手引き」を全家庭に配付し、読書に親しむことを広めていきます。	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。	B	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。
	2	14	情報の 発信	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	子育てひろばカレンダーを月に1回発行し、子育てひろばやおはなし会などの情報発信を行います。	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・子育てひろばカレンダー、まちだ子育てサイトにて、おはなし会などの情報発信を行う。	B	・親子がおはなしに触れる機会を発信する。	・子育てひろばカレンダー、まちだ子育てサイトにて、おはなし会などの情報発信を行う。

総括	A評価	B評価	C評価	14
	3	10	1	

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本 目標	通し 番号	取組 グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度取組結果	自己評価	2026年度目標	2026年度取組予定
	3	1	学校関係者への研修	学校図書館担当者研修	指導課	他	図書指導員が司書教諭等と連携して円滑に図書館運営が行えるように、蔵書管理、環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実させるための研修を行います。また、図書指導員間での情報共有も行っていきます。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行った。	B	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。
	3	2	学校関係者への研修	新任教諭への図書館研修	指導課	他	新任教諭の読書活動に対する知識が深まるように、図書館研修を行います。	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。	B	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。
	3	3	ボランティア支援	市民向け絵本の読み聞かせ講座	図書館	保他	保育園・幼稚園等や小学校、学童保育クラブで読み聞かせを行っている保護者等を対象に、絵本の読み聞かせ講座を行います。本の選び方や読み聞かせ方の技術向上を目指します。	・保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者等に対して、読み聞かせ講座を年3回実施する。	・市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、市民向け講座を開催する。読み聞かせ講座(基礎編)、紙芝居講座、わらべうた講座を予定。	A	・保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者等に対して、読み聞かせ講座を年3回実施する。	・市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、市民向け講座を開催する。
	3	4	ボランティア支援	おはなし会ボランティアの養成講座	図書館	保他	おはなし会ボランティア養成講座を開催し、図書館で活躍するボランティアを新たに育てます。	・ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・絵本の読み聞かせを主に行うおはなし会ボランティア養成講座を開催する。10月 ボランティア養成講座(全3回)	B	・ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・引き続きボランティア養成講座を実施する。
	3	5	保護者向け講座	児童文学講座(図書館)	図書館(文学館)	保他	絵本作家や編集者等の講演会やワークショップを通して、本や本づくりに携わる人たちと交流し、本に対する理解を深めるきっかけを作ります。	・絵本作家による講演会、ワークショップの実施	・夏季展覧会に併せて、くだもの絵本に因んだ親子参加のワークショップを実施予定である。 ・絵本作家や編集者を迎えた講演会やトークショーを開催する。	B	・絵本作家による講演会、ワークショップの実施	・2025年度と同様に、絵本作家による講演会、ワークショップを実施

総括	A評価	B評価	C評価	5
	1	4	0	

2025 年度取組結果報告書及び 2026 年度取組予定報告書（案）にかかる
委員からの意見、質問及び回答

目標番号	取り組み (担当課)	意見、質問	質問への回答
1-4	子どもセンターの おはなし会 (児童青少年課)	【三浦委員からの質問及び回答】	
		・いくつかの子供センターの取組がご報告されていますが、これ以外の子供センターでも同様の取組がされているという理解でよろしいでしょうか？ - あるいは各年度でピックアップされた子供センターで取組が予定されているのでしょうか？私は、南町田なので、例えば南町田のつみきでは、どうだったのかが、ちょっと気になりました。	・子どもセンターは現在ご報告している5館(+分館1館)で全てとなります。子どもセンター（市直営）のほか、市内には類似施設として、子どもクラブ（指定管理等で運営）が8館あり、南町田に所在する施設は子どもクラブに該当します。 - 子どもクラブにおいても、地域のボランティアの方々によるおはなし会を実施しており、参考までに、南町田子どもクラブつみきでは、毎月1回、乳幼児向けに地域のボランティアの方々による絵本読み聞かせを取り入れたプログラムを行っています。
2-1	町田第一中学校 図書室 ここまちベース (生涯学習センター)	【三浦委員からの意見】	
		・中学校の図書室の地域利用はとても良い取り組みだと思います。 南町田地区には、手軽に行ける図書館がないので、鶴間小などで、この取組がさらに広がる事を期待しています。	
2-3	図書館 (図書館)	【福田比呂子委員からの意見】	
		・ここで取り組まれていることが実現したら子どもたちにとってますます魅力のあふれた図書館になるでしょうととても楽しみにしています。	
2-7	学校図書館の 蔵書整備 (学校・教育総務課)	【福田比呂子委員からの質問及び回答】	
		・私が図書指導員として活動している小学校では、2026年度4月の統合に向けて、2025年度は多くの作業をこなしつつ、図書担当職員の指示で、除籍作業をひたすら行いました。数が合えばそれでよいのかという疑問を常に持ちながら除籍、廃棄をしました。除籍図書を有効利用できる良い方法が何かありませんか？	・統合する学校においては、まずすべての図書を一度統合校のものとして登録します。その後、重複や配置スペース等の関係で、除籍する図書については、原則として、希望する学校にお渡ししております。希望がない本については、古紙としてリサイクルしています。
		【三浦委員からの質問及び回答】	
		・学校図書更新比率全国平均以上の達成校39校と目標を上回る成果が出ており、素晴らしいと思います。 ちなみに、学校図書更新比率全国平均は2025年度は何%だったのでしょうか？	・提示している学校図書更新比率は、2021（令和3）年度に実施された「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」に基づきます。当時の学校図書更新比率は全国平均の小学校7%、中学校6.5%を参考にしております。 2022年度以降は、調査がなされていないため学校図書更新比率の全国平均データはございません。

2025 年度取組結果報告書及び 2026 年度取組予定報告書（案）にかかる
委員からの意見、質問及び回答

2-9	学校図書館の 運営人材の確保 (学校・指導課)	【福田比呂子委員からの意見、質問及び回答】	
		・ 2025 年 9 月に行った調査で学校図書館の活用、運営状況に関してどのようなことがわかったのでしょうか？ ・ 2026 年度、巡回型学校図書指導員について記載がないがどうなったのでしょうか？ ・ 今後、学校図書館の専門的人材を安定的に確保するために、また、学校図書館の運営を担う役割を果たすために、改訂予定の「学校図書館活用の手引き」以外に、具体的にどのような取り組みを考えられているのですか？	・ 児童生徒の貸出冊数は、学校間で差が大きいことや、学校と図書指導員との連携が図れている学校ほど貸出冊数が多いこと、学校ごとに学校図書館の活用方法が異なることなどが分かりました。 ・ 調査により判明した、学校図書館の活用方法や学校と学校図書指導員との連携方法等の課題を整理するため、教育委員会の職員が学校を訪問し、状況を確認します。 ・ 上記の課題を整理するため、学校図書館活用推進委員会を設置し、活用マニュアルの作成や役割分担の整理を進め、学校図書館の機能強化を図ります。
3-1	学校図書館 担当者研修 (学校・指導課)	【福田比呂子委員からの意見】	
		・ 図書担当職員等学校の職員と学校図書指導員とが連携して円滑に図書運営ができるようになるには、それぞれのレベルアップはもちろんですが、職員が余裕をもって学ぶことのできる環境が必要と感じています。ぜひ余裕をもって研修を受けていただきたいと思います。	